

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 34

2012年10月発行

「クッキングをしよう！」・巻き寿司・ 自立生活プログラム 3団体合同企画

(自立生活センター・ある+大阪工業大学ボランティア教育研究会+ほうぶ)

【大阪ガスグループ“小さな灯”運動「子ども支援市民活動助成プログラム」助成】

〈ほうぶ〉が、2010年度から行ってきた「障害をもつ中高生の自立に向けた支援」事業のひとつである「クッキング」を〈自立生活センター・ある〉と〈大阪工業大学ボランティア教育研究会〉と合同で開催しました。参加者は障害をもつ中高生を中心にしながら、障害をもつ大人の方にも参加していただきました。今まで、「クッキング」の企画から参加してくれていた〈大工大ボラ研〉の学生さん達に加え、障害当事者の先輩として〈ある〉のスタッフの協力を得て、子ども達の体験の幅を広げると同時に、先輩の障害当事者と一緒に活動することで、子どもにも保護者にも新しい気づきがあったと思います。

事前の打ち合わせでは、3団体のメンバーに加え、障害児の保護者も参加して企画をつくりました。メニューは参加者に考えてもらいますが、食材や調理時間に制約があることから、おおよそのテーマが必要になります。丼物、パスタ、お好み焼き…、いろいろな案が出ましたが、「巻き寿司」というテーマを設定し、参加者のデザインした巻き寿司を作ってもらうことにしました。

夏の終わりの疲れの出る季節。また、中高生という思春期まっただ中の不安定な時期で、子どもたちはいろいろな思いや状況を抱えています。子どもたちが体験を広げていくことを目標にしながら、無理をせずに、それぞれのペースで主体的に参加し、そして、誰かが寄り添っていてくれる、ありのままの自分を受けとめてくれる。そのような活動を地道に繰り返していきたいと思います。



巻き寿司を作ろう！① ①どんな巻き寿司を作る？

日時：2012年8月30日(木)13:30~15:30

会場：大阪市立旭区民センター 集会室1

参加者：中高生5名、大人1名

学生ボランティア：8名、あるる&ほうぶスタッフ：7名

どんな巻き寿司を作るかを考えました。切ったり貼ったり描いたりして、できあがった作品を発表して、ラミネート加工しました。次に、どんな食材を使うかを考えました。昨年までと同様にサポート用紙を準備し、それぞれの「やりたいこと」ができるように工夫をしながら取り組みました。買い物&調理のみに参加する子どもからは、事前にオリジナルの巻き寿司の絵を描いてもらいました。終了後、ボランティアとスタッフで、買い物リストに分量を書き加え、次回の「買い物&調理」に向けて打ち合わせをしました。

<プログラム>

13:30 出会おう！知り合おう！

自己紹介

どんな巻き寿司にしようかな？

好きな食材や好きな形を選んだり描いたり…

発表しよう！

作品をラミネート加工します

どうやって作るのかな？

材料は？ 買い物リストを考えます

15:30 終了

ボランティア&スタッフミーティング(振り返り&次回打ち合わせ)



巻き寿司を作ろう！②買い物&調理

日時：2012年9月8日(土)11:00~15:00

会場：大阪市立旭区民センター 調理室

参加者：中高生7名、大人1名

学生ボランティア：9名、社会人ボランティア：2名

あるる&ほうぶスタッフ：6名

前回作った作品を見ながら、それぞれが作りたい巻き寿司を確認しました。買い物リストをもとにグループに分かれて買い物をしました。子どもたちは手馴れた感じで、買い物をしていました。大工大のボラ研が作成してくれた紙芝居を使って巻き寿司の作り方を勉強しました。あれこれと悩みながら、いろんな工夫をしながら、楽しく作りました。きれいな巻き寿司ができました。みんなで、いただきま〜す！

巻き寿司を撮影し、写真を印刷してお土産にしました。

<プログラム>

11:00 メニューと材料を確認します

お米をといで、ご飯を炊きます

スーパーに買いに行きます

材料をカゴに入れて、お金を払います

作ります

紙芝居で作り方を確認します

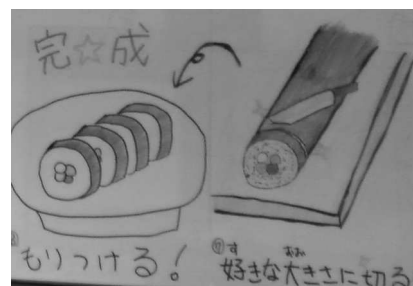
いただきます！

みんなで楽しく食べます

かたづけをします

15:00 終了

ボランティア&スタッフミーティング(振り返り)



<参加者や保護者の感想から>

- ・ 美味しく作れてよかった。参加できてよかった。
- ・ 「どんな巻き寿司をつくる？」の回に参加した子どもが作った作品を見て、「こんな作れるの〜？」と思いましたが、とても立派な巻き寿司を作っていて、驚きました。初めての巻き寿司作り、良い経験になりました。
- ・ 「食」がテーマの時は、正直ちょっとひるみます。てんかんもあるし、食べこぼしもあるし、「調理もどこまで参加できるんだろう？」とか、薬の影響でよだれもこぼしたり…。でも、同じグループのボランティアやスタッフの人たちが、「楽しそうでした」、「うまく作れました」、「よく食べてましたよ」と、できないことよりできていることに目を向けて報告してくれたので、とても嬉しかったです。ボランティアの人のコメント(サポート用紙)も「ほめる」ことばかりで、ほめられることって嬉しいなあと思いました。娘もきっと嬉しかったと思います。
- ・ 今回、情緒不安定な状態でしたが、クッキングは生きるためには必要なことでもあるので、スタッフ、ボランティアに声をかけてもらって、調子のよくない時も、よくないなりに充実した余暇になったと思いました。
- ・ 本人の気持ちが不安定な状態でしたので、「どんな巻き寿司をつくる？」の回はなんとか参加できたものの、「買い物&調理」に関しては、活動に参加できなかったようです。その中でも根気よく声をかけてもらったり、傍についてもらったり、人とのやりとりの中で何か感じてくれたらいいなあと思っています。
- ・ 料理をするのは好きで、家でも何かを手伝うことはよくありますが、日常では主役ではありません。サポートしてもらいながら主たる作る人になってする料理は本人にとって大切な経験になります。親ではない誰かと一緒にできることが大事だと感じています。
- ・ 回を重ねる度に慣れてき、余裕ができてきたと感じます。

<ボランティア&スタッフの感想から>

- ・ 具材選びでは、それぞれに好き嫌いがあったので、どのようにしてグループでバランスをとるのかを一緒に考えることができて楽しかったです。
- ・ 自分では思いつかない、斬新な巻き寿司ができそうで楽しみです。本人のペースで、ゆっくり一緒に考えることができて良かったです。
- ・ 巻き寿司の完成と具材がイコールになりやすく、色合わせのイメージにもう少し工夫できればなーと思いました。
- ・ いろいろな巻き寿司の写真があったので、イメージもわきやすかったようで、好きなものを選んで楽しそうでした。私が提案したことが、子どもにとって強制になっていないかどうか少し心配で、最後に「これでOK？」と聞くと大きうなずいてくれたので良かったです。
- ・ どのような活動をしているかなど、他のスタッフとお話しでき、うれしかったです。調理とは、これから必ずついてくるもので、少しでも子どもたちが包丁の使い方や持ち方など覚えてくれたらなと思いながら参加しています。

- ・ 巻き寿司を作るということで前回(昨年度)のお弁当作りとはちがった、作り上げる楽しさを共有することができて良かったです。
- ・ 出来上がりの想像がつかなかった。巻くのが大変でした。切ったら上手に出来ていたから嬉しかったです。
- ・ 買い物はとてもワクワクしながら活動できました。調理は四苦八苦しながらも、しっかりと完成できたので、良かったです。全体的にとっても充実した時間を過ごせました。
- ・ クッキング初参加だったので、分からないことだらけで、率直な感想として難しかったです。ただ、いろいろなコミュニケーションのとり方をして、少しずつ確認しながら進めていったので、大きな失敗はなかったと思います。
- ・ 自分の好きな材料でオリジナルの巻き寿司が作れることは、とても魅力的でした。それぞれの個性が出ていて、出来上がった自分の巻き寿司を見て、「わあ〜」と目を見開いて感動している姿に私もうれしくなりました。
- ・ 自分たちで考えた巻き寿司なので、買いものする時も何を買うか意識しやすかったです。巻き寿司を作る時もラミネート加工した絵を見ながら具をのせていって楽しそうでした。頑張りすぎて最後に少し疲れてしまったようだったので、少しずつ休憩等をはさみながらやっていった方がよかったなと思いました。



空が高くなりました。行楽にスポーツ、読書や勉強。あちこちで研修会やイベントが開催されています。皆さんは、どのように秋を過ごされていますか？

私は鼻炎になり体調を崩すことが多くて、秋が苦手です。この美しい季節を楽しむことができないのは残念です。マイペースでぼちぼちいきます。

昼と夜の気温の変化が大きい日が続きますので、休養と栄養を充分にとって、体調に気をつけてお過ごしください。

